

～あなたに出逢えたこの町で～
令和7年度 秋葉区二十歳のつどいを開催します

アキハスムプロジェクトの取り組みの一つとして、秋葉区で二十歳を迎えた若者の人生の門出をお祝いし、下記のとおり秋葉区二十歳のつどいを開催しますので、取材にご協力くださいますようお願いいたします。

「アキハスムプロジェクト」

秋葉区に、住んだ人と、住んでた人が、『住んでよかった』と言う、思うプロジェクト

<開催概要> 別添のプログラムもご覧ください。

日時	令和7年 5 月 3 日(土・祝) 開場：午後 1 時 30 分 式典：午後 2 時 00 分～午後 2 時 45 分	 さつきちゃん  ゆうたくん
会場	新潟市秋葉区文化会館 ホール（新潟市秋葉区新栄町 4 番 23 号）	
対象者	平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた方で秋葉区に住民登録のある方 ※612人（男318人, 女294人 令和7年2月末日時点）	
実施内容	記念合唱「あなたに出逢えたこの町で～にいつのうた～」 新津第一中学校合唱部 区長式辞、来賓祝辞(新潟市議会議員、秋葉区自治協議会会長) 二十歳のことば:二十歳代表 中野 元希(げんき)さん	

<ココが違う。今年の秋葉区二十歳のつどい>

式典前	秋葉区イメージキャラクター、さつきちゃん・ゆうたくん(着ぐるみ)との記念撮影タイムあり
式典中	タイトルにもなっている「あなたに出逢えたこの町で」を参加者全員で合唱
式典後	ステージ上で中学校区ごとの記念撮影タイムを設けて、一生の思い出に！

<昨年の様子>



<ホームページ・
二次元コード>



《お問い合わせ先》

新潟市新津地区公民館 担当:森山、権平

電話:0250-22-9666 FAX:0250-22-9616

電子メール:niitsu.co@city.niigata.lg.jp

2025

Congratulations
for
coming of age

令和7年度

～あなたに出逢えたこの町で～

秋葉区二十歳のつどい

【日 時】令和7年5月3日(土・祝)

開場：午後1時30分

式典：午後2時～2時45分

【会 場】秋葉区文化会館 ホール

式典次第

1. 開 式
2. 記念合唱 …………… 「あなたに出逢えたこの町で～にいつのうた～」
(新潟市立新津第一中学校合唱部)
3. 式 辞 …………… 新潟市秋葉区長 長崎 忍
4. 祝 辞 …………… 新潟市議会議員 倉茂 政樹 様
秋葉区自治協議会会長
5. 来賓紹介
6. 二十歳のことば …………… 二十歳代表 中野 元希 さん
7. 閉 式

★ステージ上で記念撮影タイム(式典終了後)

2025

Congratulations for
coming of age皆さん、
おめでとうございます!

新潟市秋葉区長

長崎 忍

新潟市秋葉区(旧新津市)出身・在住。
大学で建築・都市計画を学び、卒業後にゼネコンで
工事現場管理を担当。
30歳で新潟県庁に転職。40歳で新潟市役所に移籍し、
秋葉区役所地域課長・産業振興課長、保健所環境衛生
課長を経て、2022年4月から秋葉区長。一級建築士。

区長からのメッセージ

未来を創る皆さんへ!

秋葉区で二十歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

近年は、世界各地での紛争や米トランプ大統領誕生、グローバル化やデジタル化の進展などにより、「予測不能で不確実な時代」と言われます。5年先、10年先を見通すことが難しいからこそ自分を信じ、自分の好きなコト、信じるコトを探索し磨き上げることを続けてください。きっとその先に、皆さんを必要とする人や役割が、地域・社会に現れるに違いありません。

秋葉区では、「健康長寿で多世代交流、こども真ん中の秋葉区づくり」にトライ・アンド・エラーで挑戦しています。二十歳を迎えた皆さんにも、未来の自分のために、様々な挑戦することを期待しています。

素敵な先輩たちからのメッセージ



雑貨SHOP Aimer オナー
めぐみ
吉村 恵美

1986年生まれ福島県出身、中学・社会人までハンドボールの国体選手として全国を飛び回る。ファッション業界に就職した事で服飾愛が深まり、14年前に新潟へ移住した事をきっかけに、憧れていた服飾作家を始める。約10年の活動を経て新潟商店街に全国のクリエイター作品が集う“雑貨SHOP Aimer”をオープン。高校生の息子を育てるパワフルなお母さんとしても活躍中!

- Q1. 二十歳の頃どんなふうに暮らしていましたか? Q2. 秋葉区の好きなところを教えてください。
Q3. 秋葉区で二十歳を迎えた若者たちへメッセージをお願いします!

A1) 恋に仕事に遊びに!何事ににも全力で楽しみ、笑って過ごしていました。その反面で『本当にやりたい事って? この先どう生きていきたい?』と自分に問い立て、答えが出ずに跳が苦しむ事も多かった頃でした。

A2) 息子と過ごした秋葉公園は、五感を育む大切な場所でした。そんな自然豊かな環境が、秋葉区が大好きな理由の一つです。

A3) 『明日が必ず来るとは限らない』そう思うと、今抱えている悩みも小さい事のように思えて、どんな事にも全力で取り組みました。

この先、楽しい事よりも辛い事や苦しい事の方が多いかもしれません。そんな時はそっと立ち止まって、今ある全てに想いを巡らせてみてください。不思議と心が温かくなると思います。ひとつひとつは決して当たり前ではなく尊いものだと思える心を、ぜひ育んで欲しいと願っています。

辛い時こそ、好きな事をして好きな物を食べる!自分の機嫌は自分でとって、下がる日があっても必ず上げられる術をいくつも持っていれば、どんな事も必ず乗り越えられる“強い人”になれるはず。20歳の今はとにかく沢山後悔して、沢山悩んでください。乗り越えた先には、必ずパワーアップした自分が待っています。

お互い成長した姿で“秋葉区で”会いましょう。20歳おめでとう!



シンガーソングライター
かえで
小林 楓

カナダ・トロントでのバンド活動の後東京へ拠点を移し、現在までに合計5枚のアルバム・EPを発表。東京と新潟を行き来しながら、楽曲制作・ライブ活動・イベント出演など精力的に活動中。『パーソナリティを務めるラジオ番組「小林楓のミラーボールラウンジ」は、エフエム新潟(76.1MHz)とサイマルラジオにて毎週木曜夜8時から放送中。金津小中出身です。

- Q1. 二十歳の頃どんなふうに暮らしていましたか? Q2. 秋葉区の好きなところを教えてください。
Q3. 秋葉区で二十歳を迎えた若者たちへメッセージをお願いします!

A1) 音楽活動のために、カナダにあるトロントという街へ移り住んだのが二十歳のときでした。人脈もお金も具体的な展望も持たず、野望だけを携えて海を渡りました。人との出会いとお酒に支えられていました。

A2) 人。人と人の繋がり。地方的かつ都会的なマインド。みんな野望を持っている。セクシーな大人がたくさんいる。東京より秋葉区にいたときの方がたくさん刺激がある気がします。変わらないために変わり続けている人、場所が多くあるからだと思います。

A3) 挫折しましょう。まわり道をしましょう。他人に迷惑をかけ、大いに後悔しましょう。嫌われましょう。失敗しましょう。無駄なことをどんどんしましょう。あなたは盛大に傷つき、顧みて、ときどき絶望するでしょう。その中で遷移する風景を、自分自身を観察しましょう。私はたった今三十八歳ですが、二十歳のときから変わった感じが全然していません(恐ろしいことに)。ただ経験だけはしてきました。出会いや別れ、悲しさ悔しさ憤りの中で少しずつ学び、ここにきてやっと成長みたいなものを感じられるようになりました。

人の生は複雑でがんじがらめですが、生きるに値するものだと思っています。あなたのこれからの生に幸多からんことを♡愛する人・物・事を大切にね。



アキハスムプロジェクト

秋葉区に、住んだ人と、住んでた人が、
『住んでよかった』と言う、思うプロジェクト進行中。

ウェブサイトがあります
<http://akihasumu.com>

